

令和元年度地域教育コーディネーター全体研修実施報告

実施日：令和2年2月20日

○説明「栃木県における地域教育コーディネーターの養成について」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課副主幹 和久 真

栃木県におけるこれまでのコーディネーター養成の経緯や、学校と地域の連携活動で期待される効果についての説明がありました。また、地域学校協働活動のイメージや、社会教育法の改正により地域学校協働活動推進員の委嘱が可能になったことなどについて、図や動画を交えながら説明がありました。

○講話・ワーク「地域教育コーディネーターに期待される役割」

スクール・アドバイス・ネットワーク 事務局長 井上 尚子 氏

これからの新しい時代に対応していくための資質・能力を子どもたちに身に付けさせるために、コーディネーターとしてどのような役割を担うことができるのかお話しいただきました。コーディネーターが多様な活動を展開している実践例を聞き、受講者は、学校と地域をつなぐ役割とその大切さについて理解を深めることができました。

ワークでは、『教頭先生から「ゲスト講師を探してほしい」という依頼を受けたときに、実際どのようにコーディネートするか』というテーマについて意見交換が行われました。グループは様々な立場の方でメンバー構成されていたので、それぞれの視点からの意見が出されて充実した話し合いの場となりました。

まとめとして、学校と地域がお互いの立場の違いを理解しながら、共通の目標に向かっていくことが大切であることを確認するとともに、コーディネーターとして学校や地域と連携する際の心得を紹介していただきました。



【受講者の感想から】

- 学校のために地域学校協働活動を推進するという意識が強かったが、ボランティア側、コーディネーター側、地域の方側など立場を変えて考えることができました。
- コーディネーターとしての心得をきちんと明示していただき、再確認することができました。
- 杉並区の事例を聞いてとても参考になりました。今後も事例や県内の方々のお話を聞き、ヒントになることが得られたらと思いました。
- 他市町の先生やコーディネーター、市町職員とで立場によってどこまでやってほしいというところが少しずつ違っているなど、いろいろなお話が聞いてよかったです。
- 卒業生の保護者は、大切な人材だと気付かされました。
- とても具体的で今後の活動に生かせそうなお話ばかりで参考になりました。コーディネート業務の具体を示していただき、理解が深まりました。
- 「何のために地域と学校の協働なのか」という視点で取り組むことがとても印象に残っています。何よりも子どもたちの成長のためになったり、それが地域の力になったりするということを、改めて感じました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp